

# 緊急消防援助隊情報

## 消防庁ヘリコプター4号機を宮城県防災航空隊に配備

### 広域応援室

消防応援体制強化を図るため、消防組織法第50条の無償使用制度により、宮城県防災航空隊に4機目の消防庁ヘリコプターを配備しました。

消防庁は、地震等の大規模災害発生時において迅速かつ広域的な情報収集活動を実施し、緊急消防援助隊派遣の判断等をより的確に行うため、消防組織法第50条の規定による無償使用制度を活用し、消防庁ヘリコプターの整備を進めており、これまでに1号機を東京消防庁、2号機を京都市消防局、3号機を埼玉県防災航空隊に配備してきたところです。

今回、導入した4号機は、東日本大震災において津波で被害を受けた宮城県（宮城県防災航空隊）に配備し、北日本における早期情報収集体制の確立及び緊急消防援助隊の迅速な応援活動の実施を目的とするものです。



### 2 装備等

消防庁ヘリコプター4号機には、消防防災ヘリコプターに要求される多様な任務に対応するため、ヘリからの吊り上げ救助に使用するホイスト装置や（最大吊り上げ荷重272kg・ケーブル長88m）、空中消火に使用する消火バケツ（容量600ℓ）及び消火タンク（容量900ℓ）、救急搬送時に使用するEMS装置（人体監視モニター・酸素吸引器等）などの主要装備を備えています。また、情報通信機能の強化を図るため、災害時の通信手段に有効なイリジウム衛星電話やヘリコプターの位置情報及び動

態状況の共有を可能とするヘリコプター動態管理システムも搭載しています。

さらに今後、飛行中に取得した映像情報をヘリコプターから直接、人工衛星に伝送するヘリサットを搭載する予定であり、大規模災害初期の被災状況把握などの情報収集に関して、従来のヘリコプターテレビ電送システムに比べ、被害状況を地上の受信設備に頼らずに映像伝送することが可能となり、初動対応の向上が期待できます。

### 3 諸言・性能等

機体番号	JA04FD	
型式	ユーロコプター式AS365N3	
諸元性能	全長	13.68m
	全幅	3.26m
	機体全高	3.81m
	最大全備重量	4,300kg
	最大巡航距離	778km
最大巡航速度	269km/h	



### 4 運航

宮城県防災航空隊は、消防庁ヘリコプター4号機「みやぎ」が、平成25年8月6日から新たに運航を開始しました。

次ページでは、宮城県防災航空隊から、新機体による運航体制についてのレポートを紹介します。



宮城県防災航空隊は、東日本大震災時の津波により基地及び機体が被災したことから、震災以降リース機による運航を実施しておりました。

平成24年度からはA S 3 6 5 N 1、同N 2をリースし、新機体への移行訓練や災害対応を行っておりましたが、消防無線や救急用ストレッチャーの未装備により転院搬送等が出来ないなど、限定的な活動を余儀なくされておりました。

この度配備された消防庁ヘリコプター4号機「みやぎ」の運航開始により、これらの活動制限は全て解消されるとともに、仙台市消防航空隊と隔日の夜間運航体制を含め、震災以前の体制にまで戻すことができました。

また、昨年度末からは仙台空港において仮設ながら新事務所の運用も開始しております。

4号機「みやぎ」は地形認識警報装置や航空機衝突防止装置等の安全装置に加え、安定的なホバリングを可能とする4軸制御自動操縦装置や視認性に優れるグラスcockピッドの採用など、安全性と操作性が向上しております。前項で紹介された装備も追加され、安全に活動の幅を広げることとなりました。

震災中の応援活動に加え、震災以降、関係機関の皆様にも多大なるご支援、ご協力をいただき新機体の運航開始まで辿り着くことが出来ました。

現在は受援県の経験を活かした「大規模災害時の航空運用調整」の再検討や「航空部隊受援計画」の改定など、新しい体制作りを進めております。

今後も4号機「みやぎ」を活用し、自県の災害対応のみならず、大規模災害時の応援活動等様々な災害に迅速に対応できるよう益々訓練に励んでいきたいと考えております。

## 宮城県防災ヘリコプター管理事務所



宮城県防災航空隊  
隊長 菅原 道彦  
(仙台市消防局派遣)



### 問い合わせ先

消防庁広域応援室航空係 山尾、大住  
TEL: 03-5253-7527